

教科	家庭	単位数	2	学科・学年	全学科 1年
使用教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）				
副教材等	2021生活学N a v i 資料+成分表（実教出版）				

1 学習の到達目標

1. 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
2. 学習した知識や技術を活用し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決する態度を育成する。
3. 家族や社会との共生を目指し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 科目の特色

・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む）

	学 習 内 容	主 な 学 習 活 動 (指導内容)
一 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科を学ぶにあたって ・自分らしい人生をつくる① ・食生活をつくる ・子どもと共に育つ ・夏休み課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科で何を学び、どのような学習活動をしていくのかを知る。ホームプロジェクトについて理解する。 ・各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ・自分や現代の食生活をみつめ、特徴や問題点について考える。 ・栄養素の種類と働きを理解し、摂取のしかたについて考える。 ・安全で健康的な食生活のあり方について考える。 ・調理実習を通して、調理の基礎技術を身につける。 (調理実習は学期毎に計3回) ・子どもの育つ力と発達段階を知る。 ・人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを学ぶ。 ・遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について学ぶ。 ・子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。 ・ミニホームプロジェクトを実施。
二 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会を生きる ・自分らしい人生をつくる② ・衣生活をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の現状と課題を理解する。 ・高齢期の心身の変化や特徴、個人差が大きいことを理解する。 ・身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。 ・高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。 ・生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、生活課題に対応した意思決定の大切さを理解する。 ・男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性を理解し、家庭生活の在り方について考える。 ・家族・家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを把握する。 ・被服材料の特徴を理解し、組成表示・取り扱い表示・サイズ表示などの意味が分かる。 ・汚れ落ちの仕組みを理解し、被服に適した洗濯や保管方法を知る。 ・被服実習を通して、被服の基礎技術を身につける。
三 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・経済生活を営む ・住生活をつくる ・1年のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ・生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを知る。 ・国際化・複雑化している経済社会と家計との関係を理解する。 ・キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。 ・住居の機能を理解し、安全で快適な住環境について考える。 ・学んだことを振り返り、自分の生活設計について考える。

4 課題、提出物等

- ・ワークシートを授業後に提出します。
- ・夏休みの課題でレポート提出があります。
- ・実習後は、自己評価と感想レポートを提出します。

5 評価の観点

・評価の方法は、定期考査、学習状況（出席状況・授業態度・参加意識・忘れ物等）、提出物（ワークシート・実習レポート等）などを総合して評価します。